

ついてきちゃった おつきさま かのうかりん



にちようびの ゆうがた。

みーちゃんは おとうさんと おかあさんと いっしょに おでかけしたあと くるまに のって おうちに かえっていました。

まどのむこうに、おおきな まるまるおつきさま。

おつきさまは みーちゃんをじつと みています。

それに なんだか くるまをおいかけてくるみたい。

くるまが かどのどうろを まがりました。

やっぱり、おつきさまも いっしょに まがって ついてきます。

「おつきさま、ついてきちゃった」



おつきさまは、みーちゃんの おうちまで きてしまいました。

「あらあら。どうぞ おあがりください」

おかあさんが げんかんの ドアを あけました。

おつきさまは、きらきら からだを ひからせながら おうちのなかに はいりました。

へやが とつても あかるくなりました。

「これは でんきゆうを つけなくてもいいぞ」

おとうさんが いいました。

みーちゃんは、さつそく みーちゃんのへやに おつきさまを つれていって、おきにいりの めいぐるみをみせたり、ピアノを ひいてあげました。おつきさまは にこにこ わらっています。

「ごはんのじかんですよ」

そのよる、おかあさんは かぼちゃのシチューを つくってくれました。

おつきさまは いすに ちょこんと こしかけて…

「いただきますーす！」

おつきさまは シチューが あつ

みたいで、たくさん フーフーして たべました。

それから、みーちゃんは おつきさまと いっしょに おふろに はいりました。

せつけんで あわをつくって あそびます。

おふろに ざぶーん。

おつきさまのひかりで きらきらひかる しゃぼんだまが みーちゃんをつつみました。

おふろから でたあと おかあさんが いいました。

「みーちゃん、おつきさまは もうおそらに かえらないといけないの」

「やだやだ」

みーちゃんは ないてしまいました。

おつきさまも さみしそうな かおをしています。



らが ひろがつていました。

「きょうは じゆうごや。みんなで おつきさまをみるひなんだ。おそらに おつきさまが いないと、みんなかなしむよ」

それから、おかあさんは まあるくて しろい おだんごを たくさんふくろにつめて、おつきさまに わたしました。

「おみやげに どうぞ」

おつきさまは にっこり わらって おだんごを うけとると、おそらにすうつと かえっていききました。

みーちゃんは さみしかったけれど、おうちで おなかいっぱい おふろでピカピカになって おそらで かがやく おつきさまを みていると、うれしくなりました。

「おつきさまも、おだんご たべてるかなあ」

みーちゃんは おだんごを もぐもぐ ほおばりながら、こうこうと でした。
(おしまい)

「そらを みてーらん」
おとうさんが カーテンをあけると まつくらなそ